

大分県立
芸術文化
短期大学

OITA
PREFECTURAL
COLLEGE OF
ARTS
AND CULTURE

大学広報誌 エピストゥラ

Epistula

summer
2014



特集
今年度、注目の話題をPick Up!
個性がキラリ☆プロの講師陣!
Welcome! 留学生 ほか

〔表紙モデル〕情報コミュニケーション学科2年:岡田優希さん、佐藤瞳海さん、原田夏帆さん、竹尾菜由さん
吉田彩乃さん、森彩奈さん、安永菜月さん、牧野彩夏さん

vol. **35**

今年度、注目の話題を

P i c k U p !

個性あふれる教員陣&中国からの留学生、オペラ事業を一挙紹介。

個性がキラリ☆プロの講師陣！

山出 淳也

担当科目

デザイン特講Ⅱ

「アートマネジメント」は、現代社会においてアートと地域・市民をつなぐとても大切な考え方です。しかし、すでに手法が定まっているのではなく、その都度、どうすれば良いか考え、実践することが求められます。



美術科 デザイン専攻2年
上野 莉子さん

講師：NPO 法人 BEPPU PROJECT 代表理事/アーティスト



●講師より

私は10年前まで現代美術の作家として国内外で活動していました。たまたま、別府市での町づくりを実践されている方々の活躍を紹介する記事を読み、彼らにどうしても会いたくなり、帰国し今に至ります。ですからアートマネジメントを勉強してきた訳ではありません。そもそも、美術作家としての教育も受けていません。しかし、それらが自分に必要だと強く思ったからこそ、実践の中で全て身につけました。今でも日々勉強中です。

学生より

私は、アートプロジェクトについて知識がありませんでしたが、授業を受け、社会の中でのアートの存在や必要性が分かってきました。これから更に学ぶことで、アートと人との繋がりや、現代の社会において何が必要であるか考えていこうと思います。

担当科目

デザイン特論

表現と制作を通して社会とつながるしくみを講師の活動現場を知ることにより、今後の表現を展開し実現するきっかけにしたいです。さらに表現者としての総合能力向上のために様々なテーマのドローイングを行います。



講師：竹下洋子制作室代表/画家、ニット&テキスタイルデザイナー 竹下 洋子



●講師より

大学で絵画を学び、現在は竹下洋子制作室として「編むことと描くこと」を手法とした絵画制作をしています。ニット製品やテキスタイル製品を人が織り、生活に取り入れる事により、絵画が様々な在り方で、色んな場へ出かけて行く「絵画インスタレーション」となる事を目的としています。全国各地のギャラリーやセレクトショップなどで「Yoko Takeshita」として、ニットとテキスタイルの作品を発表・販売しています。

学生より

竹下先生の授業は、一人ひとり時間をかけて学生の個性を見つけ出してゆくという丁寧なスタイルで、過去とじっくり向き合い、より深く相手を理解することができました。今後はドローイングなどの授業を通して、思いもよらない自分に出会えるのではないかと楽しみにしています。



専攻科 造形専攻1年
松尾 小百合さん

寺田 幸司

担当科目

サクソフォン実技

サクソフォンという楽器は、音を出すのが簡単です。故に、基本的な奏法を間違っている方が非常に多くみられます。私の授業では、口の形のチェックから始め、呼吸法、音の出し方、ロングトーン、スケール、エチュード、ソナタやコンチェルト等の順でレッスンをしています。



音楽科 管弦打コース1年
山田 すす佳さん

講師：サクソフォン奏者



●講師より

サクソフォンを小学4年から習い始め、現在も運良く続ける事ができ、21年目。学生みなさんと一緒に、音楽を訓練し、考え、表現していきたいと思っています。趣味は、珈琲を淹れる、飲む。満き水で淹れる格別な珈琲を飲んでみたい方は、ぜひ気軽に声をかけて下さいね。みなさん、よろしくお願いします。

学生より

先生のレッスンでは、毎回新しい発見があり、たくさん刺激を受けています。先生と私の世界観がまた違い、違った角度からの表現の仕方や、音色への考え方が少しずつ分かってきました。これからも、多くのことを吸収していきたいです！

江漢大学から 周鳴教授が着任しました！

本学は中国・武漢市にある江漢大学と交流協定を結んでいます。今年度から本学に着任した周鳴教授にインタビューしました。

Q. 本学の印象はどうですか？

ちょうど桜のシーズンにきたので、キャンパス内の桜を満喫できました。大分市街にありながら、緑が豊かで、交通も便利です。校内のいろいろな所に絵や彫刻などが飾られていて、芸術感に満ちていますね。

Q. 大分の観光地へは行きましたか？

志高湖、杵築城、平和市民公園、武漢の森、岡城遺跡、鶴崎春まつり、烏帽子公園、十文字原展望台へ行きました。機会があれば、大分県全体を回ってみたいですね。



profile

今年の3月に中国の武漢から参りました。2002年に地元の湖北大学日本語学科を卒業し、日本へ留学。2007年に経済学修士を取得しました。現在、中国語、検定中国語演習、中国語コミュニケーション及びアジア社会と文化などの授業を担当しています。

Q. 日本(大分)に来て美味しかった食べ物は何ですか？

鶏の唐揚げ、鶏天、リュウキュウウ、関サバ、関アジなどを食べました。全部美味しかったです。

●学生たちへメッセージ

外国語を話せば、異国の人と交流でき、その国のことや文化なども理解できるようになるほか、母国のことや文化などを異国の人に紹介し、理解してもらうこともできます。それによって、お互いの理解を深めることができます。みなさんぜひ言葉の勉強に頑張ってください。

Welcome!

留学生が勉学に励んでいます！

本学では毎年、江漢大学から留学生を受け入れています。今年度は6名が本学へ留学し、周鳴准教授のもと、日本語能力試験をはじめ、国際総合学科での授業を受けて頑張っています。そんな留学生たちからのコメントです！



●晏佳雯(あなかぶんさん)

子供の時、犬夜叉を見ながら日本語を好きになりました。今は日本語のコミュニケーション力を高めたいので、日本に来ました。よろしくお願いします。

●郭燕妮(かくえんにさん)

中国と日本の貿易に関係する仕事をしたいから、自分の目で日本を感じて来ました。K-POPが好きで、日本の漫

画とアニメも大好き！同じ趣味の方と仲良くなりたいです！

●史中意(しちゅういさん)

私はいろんなことに興味があります。旅行とかアニメとか好きです。古い建物を見て、頭の中に先祖の生活を想像しています。

●曹舒儀(そうしゆいさん)

私が好きなことは文学アニメ、食べ物など色々あります。アニメは、ナルトが一番好きです。中国でも大人気です。ここに来て何を学びたいのか、これからの道を探そうと思っています。

●熊佳玉(くわいふさん)

ずっと日本のアニメとドラマに興味を持ち、それをきっかけに、日本語を習い始めました。日本語能力を高めるために、日本に来ました。よろしくお願いします。

●劉盼(りゅうはんさん)

出身は中国の武漢です。武漢の美食が好きです。特に辛い食べ物が一番好きです。漫画と小説が大好きで、日本の文化を理解したいと日本に来ました。

新進芸術家育成事業 オペラ「フィガロの結婚」開催決定！



※昨年度のオペラ「ヘンゼルとグレーテル」の様子は、本学HPにあるこのボタンをクリック！

オペラ「フィガロの結婚」

●日程：2015年1月9日(金)、10日(土)
●会場：iichiko総合文化センター iichikoグランシアタ
※詳細が決まりましたら、本学HPにてご紹介します。

GEITAN NEWS!

第54回入学式 第36回専攻科入学式を執り行いました

4月3日(第54回入学式・第36回専攻科入学式)を執り行いました。今年度は、美術科82名、音楽科63名、国際総合学科128名、情報コミュニケーション学科118名の計391名、また専攻科は造形専攻31名、音楽専攻23名、計54名が本学に入学しました。式は、昨年夏にオープンした「ホール大分」で行われ、入学生同様、新しい空間での入学式に、教職員も新たな気持ちでのスタートとなりました。



新入生オリエンテーションを実施しました

入学式の翌日より、3日間の新入生オリエンテーションを実施しました。本学の教育目的や学生生活についての心構え、共通教育科目の履修方法、防犯講話、サークル紹介をはじめ、各学科ごとにさまざまな活動を行いました。教務学生部長 吉山教授の「今日からみなさんは生徒から学生となりました。学生は、自ら学ぶ姿勢が大切です。自分の可能性を大切に、希望を持って努力してください。そして、大人であるということを実感して行動してください」とのエールに、新入生たちも改めて身が引き締まったようでした。



大分駅前地下道にアート作品を展示しました

美術科メディアデザインコースの学生が、大分駅前の地下道を「アート空間」へと変身させました。これは、大分市観光協会から「公共空間を活用し、アートによるまちづくりを推進したい」との依頼を受けて実現したものです。ガラス張りの広告スペースだった場所に、同コース2年上野利子さんがオリジナルで考案した「ナフグリフ」という象形文字を使って聖徳太子の「十七条の憲法」を訳した作品を展示しています。不思議な地下道アートを、ぜひご覧ください。



「第6回日韓次世代映画祭」を開催しました

3月28日から3日間の「第6回別府日韓次世代映画祭」を別府市中央公民館で開催しました。この映画祭は、本学の教員、学生らが中心となって運営してきた国際的な映画祭です。今回は、人気俳優のチョ・ジョンソクさんら豪華ゲストを招き、韓国映画「観相」「ソウォン(願い)」を先行上映。さらにドイツ映画「北朝鮮強制収容所に生まれて」を九州初上映するなど、収獲の多い映画祭になりました。



「TSG竹田総合学院」の開校式典に出席しました

4月17日、竹田市に開校した「TSG竹田総合学院」の開校式典が行われ、本学 中山欽吾学長と美術科 原田裕明教授が出席しました。この施設は、旧竹田中学校舎を活用し、工場の提供や作家の起業支援を行うことにより、伝統産業の復興及び文化・芸術振興に役立てることを目的としており、芸術鑑賞をはじめ、モノづくりが体験できるワークショップスペースなども設けられています。原田教授の彫刻作品と、本学学生らの常設展示スペースもありましたので、ぜひ足をお運びください。



海外語学実習でボランティア活動を体験しています!



カリフォルニア大学ディビス校で行われる海外語学実習では、サービスラーニングとして「海外ボランティア実習」を実施しています。生活弱者支援施設での食事作りや配膳をはじめ、老人ホームで日本の歌を歌ったり、折り紙を教えるなどをして交流を深めています。ボランティア活動は短い時間ですが、最後に別れる時はお互いに涙がでるくらい仲良くなり、学生たちは大きく成長しています。

大分県立美術館館長による特別講義を行いました

来年春に開館する大分県立美術館館長 新見隆氏による特別講義を行いました。美術科の学生を対象とした講義では、芸術家を目指す学生たちに対しての心構えや美術館に入館する際の視点としての必要なこと、開館する美術館についての構想などを語りました。来年春の県立美術館の開館が、大いなる期待と共に、待ち遠しい思いにさせる新見館長の講義でした。



佐伯市で「カフェレストラン」を開設しました!



佐伯市出身の学生たちが「佐伯春まつり」に合わせて2日間限定の「学生カフェレストラン」を開設しました。本学情報コミュニケーション学科の安部佑哉さんが代表を務める学生団体「好きっちゃSakiプロジェクト」の主催で、佐伯産品をPRしようと、若鳥の塩焼きやサラダなど地元素材を使った弁当を販売。西崎泰義佐伯市長も来店するなど、大いに注目されました。



大分交通発行のフリーペーパー「Discover Oita」の「コーナー」A「大分音楽幻想」で、中山学長が執筆を担当。大分の音楽の今昔について語っています。誌面では学長が描いたスケッチも掲載されています。「Discover Oita」は、エアライナーや大分交通が運行する高速バスのシートポケットに掲載されている季刊誌です。1月・4月・7月・10月の毎月20日に発行されていますので、見かけましたらぜひ、手にとってご覧ください。

公益財団法人大分県産業創造機構が発行する情報誌「創造おいた」の158号(6月1日発行)で、情報コミュニケーション学科 吉良伸一教授が担当する「サービスラーニング」が紹介されました。「研究室・研究グループ」を紹介するページで、サービスラーニングについての意図や活動内容などが詳しく掲載されています。



吹奏楽コンクール課題曲指揮法講座を実施しました

5月20日 本学小ホールにて「吹奏楽コンクール課題曲指揮法講座」を実施しました。これは、吹奏楽コンクールの課題曲を題材に受講者が指揮を行い、森口准教授より指導を受けるというもので、今回は中学校・高校で現在、吹奏楽の顧問をされている3名の先生が受講しました。まずは一人ずつ課題曲を演奏し、その後森口准教授より要所を押さえて指導がありました。また、松倉教授と清水教授からは、演奏者の立場としての話もあり、さまざまな角度から指揮の大切さを指導しました。講座は公開で行い、30名を超える聴講者の方々に好評でした。



美術科デザイン専攻ビジュアルデザイン1年次課題作品展

2014年 4月21日～5月2日



●その他の作品展
プロダクトデザインコースレビュー
2013(プロダクトデザインコース)
／久保です。(久保明穂)／ありの
まま(石井里菜)／彼方(坂)三樹
真里乃)／第4回美術作品合同展
(美術科学生)

表紙の顔

本広報誌の表紙モデルは、各学科から頑張っている学生に登場してもらっています。今回は、情報コミュニケーション学科2年の岡田さん、佐藤さん、原田さん、竹尾さん、吉田さん、森さん、安永さん、

●「街なかのきわいプラン」の
チラシデザインを担当
商店街活性化を目指したプランを募集するチラシデザインを、美術科デザイン専攻の高瀬七海さんが担当しました。

●自動車税納期内納付
啓発ポスターデザイン
自動車税の納期内納付を呼びかけるポスターとチラシを制作。美術科デザイン専攻の首藤佳さんと大石葉月さんの作品が採用され、金融機関やショッピングセンターなどに掲示されました。

●県産菓子パッケージを共同制作
県産力ボスを使ったまんじゅう「恋する香ばす」(宝物産)のパッケージデザインに、美術科デザイン専攻の池部菜菜さんのアイデアが取り入れられ、共同制作を行いました。

学友会情報

学友会では、年間を通して充実した楽しいイベントを企画しています。初々しい1年生を新しいメンバーに引き入れ、もっともっと芸短を盛り上げていきますよー！今年度のイベントは、これまで以上に学生一人一人が主体となり各学科や個人の特色を生かせるようにしたいと思っています。人文系の学生はもちろん、芸術系の学生も自分を表現できる場や空間作りにも動きます。芸短に革命の旋風を巻き起こします！どうぞお楽しみに☆



日々は精進

●地下道にアート作品を展示

美術科デザイン専攻メディアデザインの学生らが、JR大分駅の地下道にアート作品を展示。「ナーフクリフ」と題して和を以て貴しと為すの聖徳太子十七条の憲法を、独自の絵文字で表現しました。

●音楽演奏会出演

【第5回おおいた新人演奏会】藤田英璃奈(卒声楽)／藤田真砂代(修声楽)／南菜穂(修声楽)
【読売新聞第84回新人演奏会】若本菜郷(卒声楽)／共演：佐野佑実香(卒声楽)／清水絵里(卒声楽)
【日本ピアノ調律師協会第8回新人演奏会】南菜穂(修声楽)／南菜穂(修声楽)
【別府アルグエリッ音楽祭】室内楽マスタートークラス(中村匡希(ワイオリン)／佐藤蘭(チェロ)／甲斐田柳子(修ヴァイオリン)／坂本龍(修ヴァイオリン)
【別府アルグエリッ音楽祭】大分県出身若手演奏家コンサート(中山ほか)／(修トランペット)／首藤里佳(修ピアノ)／山口優里菜(卒声楽)

牧野さんです。彼女たちは「ものづくりサークル」のメンバーで、ものづくり女子隊としてイベントに参加。3Dプリンターやカッティングマシンを使った講座を開催し、ものづくりの楽しさを伝えています。

竹田キャンパス通信

竹田キャンパスも新緑の美しいのどかな季節となり、気持ちのいい日々であります。緒方町で開催されたチューリップフェスタでは、手作りエコバッグのワークショップに学生が行ってきました。今年で3回目の参加となりましたが、毎年参加してくれる子どもたちもたくさんいて、みんな生懸命、制作しています。構成、配色、そんな事は関係ありません。画面いっぱい好きなもので埋め尽くしたい、それだけです。そんな姿を見てると改めて物作りの楽しさ、大切さを考えさせられました。今後ともさまざまなイベントでみなさんと交流したいと思っています。(美術科非常勤講師 前田亮二)



※竹田キャンパスは、廃校となっていた竹田小学校(竹田市直入町)を利用して、地域と密着したさまざまなアート活動を行っています。

竹田でアート

竹田の街をアートで盛り上げようと地元のアーティストさんや有志の皆さんと共に計画中です。この日は、昨年の竹田の時に本学学生と竹田を訪れたお客さん達が一緒に作り上げた巨大壁画の仕上げを行いました。この壁画は国道沿いの(有)ベネツさんの建物の壁に飾られています。



第88回あしなが学生募金に参加

毎年春と秋に行われているあしなが学生募金活動が、この春も行われました。あしなが学生募金事務局が主催し、全国の遺児を支援する募金を集めています。県代表は本学の学生です。今回は100名を超える学生が参加しました。



大分もりアゲ隊

大分市を盛り上げるために大分青年会議所メンバーと市内の学生が作る学生ネットワークの活動が今年も始まりしました。昨年は七夕ブロードウェイや夢色音楽祭のお手伝い、わくわくワークランドの企画を行いました。今年はどんな活動を行うのか、これからの会議で決まっています。

アースデイおおいた

地球の事を思い行動する日として、世界中で定められた日がアースデイ(4月22日)です。大分では、27日(日)に別府公園に環境にやさしい団体が集い、様々なイベントが開催されました。本学学生も35名が参加、会場の設営やイベントの運営、ブースのお手伝いを通して、環境の事や地球の事についてじっくり考えてきました。



「大学で学んだことを地域で生かし、地域で活動することで学びの意義を知る」ことを目的としたサービスマーケティング。単なるボランティアでは終わらない、自主性・論理性・協調性のある「社会人」を育成するプログラムを組んでいます。今回の報告のほかにも、様々な活動を行っています。

※サービスマーケティングの詳細は、<http://oitapc-cis.jp/>または<https://www.facebook.com/oitagetan.jyocom>をご覧ください。

芸短オープンカレッジにおじゃまします

楽しい趣味からビジネススキルアップを目指すものまで、さまざまな講座が揃った「芸短オープンカレッジ」。今回は、「陶芸講座」の教室におじゃましてきました。

〈陶芸講座〉毎週金曜日の18時～実施中。電動ろくろを用いて、水びき成形、電気窯による焼成で器を制作しています。

※前期陶芸講座の申込みは終了しています。後期講座のご案内は8月中旬頃にチラシ、本学HPにてご案内いたします。



受講者の友澤弥生さんにお話しをお伺いしました。

一受講しようと思ったきっかけは？
もともと陶芸に興味があって、新聞のチラシでこの講座の事を知り申し込みました。
一受講してみようと思った？
最初は難しく「ついていけるかな？」と不安だったけど、制作中は「無」になれるし、不格好でも形になってくるとすごく嬉しい、楽しいです。
一教室の雰囲気はどうですか？
みんな休憩も忘れて、しんけん制作に没頭しています(笑)。

取材にお伺いした時も、みなさん制作に集中していました。講師の谷口能隆先生は、「みなさん、楽しそうにやっています。これから制作を続けていくと、自分の成長が手に取るように分かると思います。そうすると、更に楽しくなっていくと思います」と話されていました。

学長コラム



中山 欽吾

似顔絵：学長秘書 佐々木優季

新学期に当たって

毎年、花々が咲き乱れるこのシーズンに入學式が行われ、気持ちが高揚する想いになるのは私だけではないでしょう。今年の入學式は、初めて学外に出てホルトホールで行ったために、入學式当日に満開だった本学正門の桜を、ご家族や保護者の皆様に見て頂けなかったことが少し残念でした。新入生の皆さんは翌日からオリエンテーションで、何とか持ったえくれた桜と出会い、新たなスタートを実感された事と思います。こうして、今年もまた新学期がやってきます。

そんなワクワクした気持ちで新学期がスタートし、本格的な授業が始まってもう二カ月が経ちました。新入生の皆さんはそろそろ大学の雰囲気にも慣れて、周りが見渡せるようになってきたのではないかと思います。また、上級生の皆さんもフレッシュな一年生が入ったことで、

てきた事で、少しは上級生としての自覚を持ち、先輩との交流なども始まっているかもしれません。特にサークルをはじめとする学友会の活動は、先輩と後輩の壁を取り払う効果がありますので、新入生の皆さんも何かを選んで始めてみることをお勧めします。

ゲイタンを体験! オープンキャンパス 7月20日(日)・9月14日(日)

13:00~17:00(受付12:00)

毎年2回開催するオープンキャンパスは、芸文短大の魅力がギュギュッと凝縮!
各学科ごとに様々な体験ができます。

※美術科は、10:00~自由に施設内や
展示作品を見学することができます。



美術科

美術絵画室やデザイン実習室などの
学内施設を見学。アート&デザインの
ミニギャラリーも実施します。持参
作品の講評もOK。



音楽科



学生によるピアノ、器楽アンサンブル、オペラ・ハイライトといったミニコンサートを開催。入試相談や希望者は施設内見学も可能です。

国際総合学科

学科紹介をはじめ入試説明、在学生によるキャンパスライフ紹介を実施。ネイティブ教員と楽しく学ぶ語学体験や「入試・学生生活」相談コーナーを設置、入試に関する個別相談を行います。



情報コミュニケーション学科



授業の様子を体験できるミニ講義をはじめ、メディア体験や情報処理演習室利用体験、不思議心理体験などプログラムがもりだくさん。在学生との対話では、学生の「生の声」を聞くことができます。

美術科・音楽科 夏期講習会

美術科 美術科実技公開模擬試験を開催します。

日時	7月21日(月・祝) 9:00~12:00/作品講評12:00~12:30
コース	●模擬試験コース(専攻選択):美術専攻・デザイン専攻 ●デッサン入門コース(共通)
対象	高校生以上(社会人も可)
定員	各コース・専攻15名程度 ※応募者多数の場合は、抽選となります。
受講料	800円
申込締切	7月7日(月)当日消印有効
申込方法	住所・氏名・年齢・電話番号・希望コース(模擬試験コース(美術専攻・デザイン専攻のどちらかも選択)またはデッサン入門コース)を明記のうえ、電子メール、往復はがきのいずれかでお申込下さい。電話での受付は行っておりません。
申込先	●電子メール fine-art@oita-pjc.ac.jp ●往復はがき 〒870-0833 大分市上野丘東1-11 大分県立芸術文化短期大学 美術科 美術専攻副手室
お問い合わせ	美術科 美術専攻副手室 TEL:097-545-8548または097-545-8641 ※詳細は、本学HPをご覧ください。

音楽科 音楽科に進学を希望する受験生のための講習会です。

日時	1回目 7月19日(土)・20日(日) 9:00~17:50 2回目 9月13日(土)・14日(日) 9:00~17:50
コース	1回目 声楽・ピアノ・指揮・理論・作曲・管弦打(ヴァイオリン・ヴィオラ・チェロ・コントラバス・フルート・オーボエ・クラリネット・ファゴット・ホルン・トランペット・トロンボーン・チューバ・打楽器・マリンバ・サクソフォーン・ユーフォニアム) ※管弦打については、楽器により実施日が異なります。詳細、第2回目については、本学ホームページをご覧ください。 音楽基礎科目: コールユーブングン・視奏はレッスンの中で行います。聴音・新曲の講習も行います。
受講料	4,500円(45分間のレッスンまたは授業1回)
申込締切	第1回目: 管弦打コースは6月20日(日)、その他コースは6月30日(月)。第2回目については、本学HPをご覧ください。
お問い合わせ	音楽科 副手室 TEL:097-545-8758

本学に入学を希望するみなさんをサポートします!

高校生、受験生のための学校説明会では、専門のスタッフと教員が受験・入学に関しての相談・アドバイスを行っています。

6月~9月
学校説明会

- 6月13日(金) ホテル豊洋(豊後大野市)
- 6月16日(月) 大分イベントホール(大分市)
- 6月18日(水) マリエールオークバイン日田(日田市)
- 6月23日(月) ビーコンプラザ(別府市)/ヴィラルーチェ中津(中津市)
- 6月25日(水) 日杵市民会館(日杵市)
- 9月18日(木) トキハ会館(大分市)

※上記は大分県内で開催する学校説明会の日程です。学校説明会は九州各県で開催しています。詳しいスケジュールは本学HPをご覧ください。



入試広報専門員
荒川悠紀子

公開授業⑥芸短オープンカレッジ

本学では、社会全体の学習ニーズの高まりに応え、地域社会に幅広い生涯学習の機会を提供することを目的とした「公開授業」と「芸短オープンカレッジ」を開講しています。「公開授業」は、大学の講義を県民のみなさまに公開して、学生と机をならべて学んでいただくという制度です。「芸短オープンカレッジ」は、本学ならではの個性的な講座を多数取り揃えております。「公開授業」は8月初旬からお申し込み受付開始。「芸短オープンカレッジ」は、現在右記の講座でお申し込みを受付けております。「公開授業」「芸短オープンカレッジ」の詳細は、本学HPをご覧ください。

芸短オープンカレッジ現在募集中の講座

- 声楽個人レッスン
- 声楽グループレッスン
- 中級・上級ピアノ講座
- 名作に学ぶ映画鑑賞
- パソコン実践力アップワープロ講座
- パソコン実践力アップ表計算講座
- 高校生のための心理学入門

お問い合わせは

「公開授業」「芸短オープンカレッジ」担当(TEL:097-545-0542)まで、お気軽に電話ください。

Event Calendar

6月 June

- 10日(火)~ 学内ギャラリー「第4回美術作品合同展」
- 27日(金)~ 学内ギャラリー「彫刻演習課題展」
- 7月4日(金)

7月 July

- 8日(火)~ 学内ギャラリー「ぎょうしゅくタイム(仮)」
- 17日(水)
- 9日(木) 芸短音楽科コンサートシリーズ No.73「公開研究発表Ⅰ」
- 10日(金) 芸短音楽科コンサートシリーズ No.74「公開研究発表Ⅱ」
- 19日(土)~ 学内ギャラリー「買上収蔵作品展」
- 31日(木)
- 19日(土) 音楽科 夏期講習会
- 20日(日) 第1回オープンキャンパス
- 20日(日) 音楽科 夏期講習会
- 21日(月・祝) 美術科 夏期講習会
- 23日(水) 清正公鶴崎二十三夜祭

8月 August

- 中旬 日韓短編映画制作交流

9月 September

- 13日(土) 音楽科 夏期講習会
- 14日(日) 第2回オープンキャンパス
- 14日(日) 音楽科 夏期講習会
- 24日(木) 芸短音楽科コンサートシリーズ No.75「若さあふれるコンサート」

※各イベントの情報は変更になる場合があります。

情報をいち早くGet!

大分県立芸術文化短期大学の公式facebookをはじめ、各学科やサークルがfacebookを立ち上げています。イベントや公開講座、キャンパス内の様子など情報満載です。



大分県立
芸術文化短期大学



音楽科



OITA
GEITAN
VISUAL
DESIGN

美術科ビジュアル
デザインコース



国際総合学科



美術科メディア
デザインコース



情報
コミュニケーション学科